

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について
(2026年3月 検針分)

2025年10月 ～ 2025年12月 のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。

原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

なお、2026年3月分(2月使用・3月検針分)のガス料金には、政府支援を踏まえた値引き「電気・ガス料金負担軽減支援事業」が反映されています。

●平均原料価格

	単位	2025年9月 ～ 2025年11月	2025年10月 ～ 2025年12月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	82,650	83,930	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	76,410	77,210	
平均原料価格	円/トン	82,690	83,950	46,100

平均原料価格＝LNG平均価格×0.9541＋LPG平均価格×0.0502 (10円未満端数四捨五入)

原料価格変動額 ＝ 平均原料価格 － 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)
＝ 83,950 － 46,100 ＝ 37,800 円/トン
(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 ＝ (基準単位料金 ＋ 0.084×原料価格変動額÷100円×(1＋消費税率))－18.0円※1

(小数点第3位以下の端数切捨て)

※1:政府支援で18.0円/㎡(税込)が値引きされます。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2026年3月 検針分 調整単位料金 ※2	調整額 (B)－(A)
A料金表 (0㎡～24㎡)	円/㎡	222.65	239.57	16.92
B料金表 (24㎡を超える)	円/㎡	163.59	180.51	16.92

	単位	(A) 2026年2月 ※2	(B) 2026年3月 ※2	(B)－(A)
A料金表 (0㎡～24㎡)	円/㎡	238.37	239.57	1.2
B料金表 (24㎡を超える)	円/㎡	179.31	180.51	1.2

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

2026年3月 検針分の単位料金は、2026年2月 検針分 に比べて、1㎡(45MJ)当り

1.2 円(消費税込)、標準家庭(26㎡)では月額 31 円の調整を行うこととなりました。

1ヶ月分使用量(㎡)	(A) 2026年2月 ※2	(B) 2026年3月 ※2	影響額 (B)－(A)
26	6,833	6,864	31

計算式・・・基本料金(税込)＋調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)

※2: 政府支援を踏まえた18.0円/㎡(税込)の値引きがされています。詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金負担軽減支援事業」をご覧ください。(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp)